

9月の県内景況は、「売上高」「収益状況」が悪化したものの、全体の「業界の景況」はほぼ横ばいだった。大型連休の好天が好影響の感あり。

情報連絡員による平成27年9月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は15.8%（前月比-4.2）となっており、「横這い」は40.3%（同+10.3）、「低調」とするところが43.9%（同-6.1）、業界全体の「景況感DI」は-28.1（同+1.9）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「販売価格」「取引条件」「資金繰り」「雇用人員」の項目が前月と比較して改善した一方で、「売上高」「収益状況」が悪化しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、小売業、サービス業及び建設業は「晴れ」、木材木製品製造業、鉄工機械製造業とその他製造業は「曇り」、その他の業種はすべて「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が17.5%（前月比-0.8）と減少しております（好転の回答0件、やや好転の回答10件）（製造業3、非製造業7）。また、変わらないが、57.9%（前月比-3.8）と減少しております。やや悪化、悪化の見込みは、24.6%（前月比+4.6）と増加しております。

平成27年9月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率95%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食品製造	16.67	-33.33	16.67	33.33	0.00	-33.33	-50.00	-16.67	-16.67	0.00	-33.33	-33.33
繊維製品製造	-33.33	0.00	0.00	-33.33	0.00	-33.33	0.00	33.33	0.00	0.00	-33.33	-33.33
木材木製品製造	50.00	-50.00	25.00	0.00	25.00	-50.00	25.00	0.00	0.00	-25.00	0.00	-25.00
鉄工機械製造	40.00	0.00	0.00	0.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-40.00	-20.00	-20.00
その他の製造	28.57	-42.86	-14.29	28.57	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	0.00	-14.29	-14.29
卸売業	-33.33	-33.33	0.00	33.33	-33.33	-66.67	-33.33	-33.33	0.00	-33.33	0.00	-33.33
小売業	-12.50	-25.00	12.50	12.50	-37.50	-25.00	-12.50	0.00	-25.00	-12.50	0.00	12.50
商店街	33.33	-33.33	16.67	33.33	0.00	-50.00	-16.67	-33.33	-16.67	-33.33	-16.67	-33.33
サービス業	0.00	42.86	14.29	14.29	-42.86	14.29	-14.29	28.57	14.29	14.29	0.00	14.29
建設業	40.00	20.00	0.00	40.00	0.00	20.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00	20.00
運輸業	-33.33	-66.67	0.00	33.33	-33.33	0.00	0.00	-33.33	0.00	-33.33	0.00	-66.67

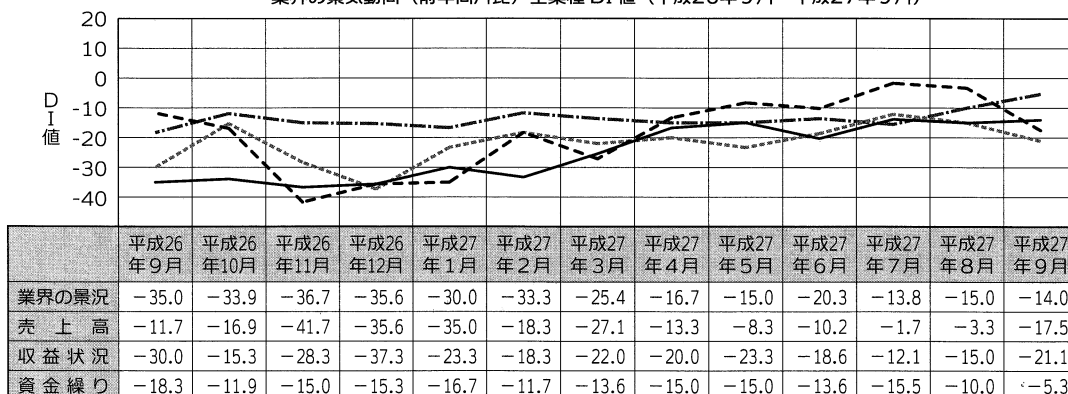
天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- 曇り -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成26年9月~平成27年9月）



食料品製造業**<漬物>**

野菜類が高く、仕入が高騰している。また、輸入原料も中国の件費の高騰もあり、仕入が高くなってきている。売上も全体として低迷している。

<味噌醤油>

味噌醤油の出荷量は、売上とともに昨年度より減少している。9月の売上は前月より微増であるが、ほぼ横這いの状況。主原料は今でも円安による高騰が続いており、価格の転嫁も厳しい。製造コストのアップ、風評被害などの不安が組合員の経営を圧迫している。

<菓子>

9月は行事の多い月で菓子業界は忙しい時期。9月で閉店、廃業する組合員の需要が多かったこと、組合員で購入をしてくれる店舗が増えたので9月の売上はやや増加した。今後廃業の組合員の出資金の返還や賦課金の減少があるので、資金繰りは厳しくなると思われる。

<食品団地>

9月も天候に左右されたが、大型連休は天候にも恵まれイベントが順調に催され盛況だった。原油価格は若干下がっているが、原料等の価格高騰は続いているため各組合員企業の収益は厳しい状況が続いている。

縫製品・同製品製造業**<ニット>**

秋冬物の生産が最盛期である。

木材・木製品製造業**<製材業>**

秋の長雨などの影響で出材減が続いていることから、9月に入り価格が上昇してきている。一方製品の需要はさほど上向いておらず、実需の伴わない丸太の急速な値上げは製材工場には厳しい状況となる。

<外材輸入>

製材品の荷動きは先月に引き続き改善されつつあり、多少引き合いは増加している。採算的には依然として低迷しており改善のきざしは見えていない。

紙・紙加工品製造業**<紙器・段ボール>**

ボックスメーカーとして要望にいかに応えられるかが課題となっており、ムダを減らし顧客の要望をいかに叶えるかを業界全体で試行錯誤を重ねて、生産設備の改良、生産推移や傾向分析し、より多くの市場ニーズに応えられるかが求められている。

印刷業**<印刷>**

復興関連の需要も弱まった印象がある。全体的な受注も低調傾向にある。

窯業・土石製品製造業**<砕石>**

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約27%の増

2. 当月売上高の昨年同月比 約9%の増

3. 今年度累計の昨年対比 約18%の増

4. 原因・状況 引き続き除染工事で東北中央道(相馬～米沢間)の関連工事への出荷で増となった。

<生コン>

平成27年9月の組合員生コン出荷数量は、168,695m³と対前年同月比4.3%の減。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比14.2%の減、官公需が11.0%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 14.2%の減

①対前年同月比増加地区

<白河地区> 6.4%の増

配送センター、倉庫・事務所建設工事等

<いわき地区> 22.3%の増

紙加工品新工場建設、製品倉庫建設、マンション新築工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 2.9%の減

復興農場、二本松太陽光発電工事等

<県中地区> 22.4%の減

学生寮新築工事、マンション新築工事、工場増築工事等

<相双地区> 45.8%の減

物流センター建設工事、原発保安対策工事等

<会津地区> 16.0%の減

会津オリンパス再開発棟建設工事、低温倉庫新築工事等

■官公需の動向

対前年同月比 11.0%の増

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 1.0%の増

霊山、馬籠山、庄司淵、腰巡トンネル、医療科学センター新築工事等

<県中地区> 25.3%の増

環境創造センター、工業団地、医療機器安全評価センター工事等

<いわき地区> 19.8%の増

港湾災害復旧、災害公営住宅、小名浜東港関連工事等

<相双地区> 23.5%の増

減容化施設工事、LNG基地工事、海岸復旧工事等

②対前年同月比減少地区

<白河地区> 44.2%の減

役場新築工事、公営住宅団地造成工事等

<会津地区> 14.4%の減

浄水場工事、復興公営住宅、小学校建設工事等

鉄鋼・金属・一般機械製造業**<鉄工>**

(県中地区)

建設関連鉄工は多忙。

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、売上高では前月比4%の増に転じ、前年同月比でも88%増と活発であった。前年累計比においても96%と回復の兆しが出てきた。しかし、主力の工事案件が9月度も前月に

続き減少傾向にあり、まだまだ不安感が残る状況である。

卸売業

<再生資源>

鉄スクラップの暴落は現在もとどまるところを知らず底がみえない状況である。この状況は、わが国の鉄スクラップのリサイクルシステムの根幹に関わる事態と業界ではとらえている。古紙市場は、価格に大きな変動はないものの、発生量の減少は続き収益減となっている。

小売業

<共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

9月の売上・客数は前年比10%の伸びとなった。理由は、前年度の消費増税による買い控え又は、増税前のまとめ買いの影響により売上が低迷、本年度増税前の売上に戻っただけ。前月比では大きくマイナスになった。時計業界では、高額腕時計の売上が増えているらしい。プレミアム商品券効果は、収束状態。9月も大型連休があり帰省客効果もあったが、期待した程ではなかった。

(県中地区のNショッピングセンター)

除染等による景気の高まり感も薄れてきており、地域内での景気の低迷を感じる。

<石油>

9月は、元売仕切価格が3~4円上昇した。しかし、販売価格は下落となり、利益が圧縮され厳しい経営状況となっている。

<青果>

前月からの単価の高騰は依然、続いたものの秋彼岸もあったが、取扱が伸び悩んだ。会津まつり等イベントが多く、観光客は伸びたが小売店への影響は感じられなかった。これから始まる山菜類について、今年も会津産のきのこが出荷制限や停止がかかっているものが多い為、来月も売上、取扱増加はあまり期待できない。

<電機>

エアコンが一段落し各地での合展、個展で売上増加を見込んでいるが、AV関連がいまいちであり、暖房にエアコンを使用していただくよう働きかけることが売上増加につながると思う。

商店街

<福島市>

福島市街なか活性化プロジェクト“アキフェス”のイベントの一環として、毎週末には様々なイベントが開催され、天候にもそれなりに恵まれた結果、多すぎず少なすぎずな穏やかな集客ができていたように思う。平日の動きとしては、日中の歩行客はそれなりに賑わったが、夜間は静かなままだった。

<郡山市>

プレミアム商品券の買い控えは、9月も続いていたような感じがした。商品券販売は好調で、2日間で販売所はすべて売り切れになった。特に2日目の日曜日のお昼過ぎには完売だった。多くのお客様が待ち望ん

でいたようで、有効期限は年内12月までだが、商店街にも売上増加に効果があればありがたい。

<南相馬市>

市内全体として、低調。

<会津若松市>

9月21日から23日の三日間、会津祭りが行われた。天候にも恵まれ大型連休と重なったこともあり多くの方で賑わった。9月末期限のプレミアム商品券は多少売上増加につながった。アーケードの解体工事が始まり、新アーケードが完成するまでの工事期間中はお客様の減少が懸念されるので、イベント等の対策を考えていきたい。

<いわき市>

8月末ぐらいから涼しい日が続く、アパレル等の秋物の動きはよくなっている。プレミアム商品券でのお買い上げもあり、購買に結びついているようだ。しかしながら、中盤すぎからお客様の動きが鈍くなった気がする。天候不順が続いたせいか、売上にも大きく影響し、結果はあまり芳しくなかった。飲食、サービスは相変わらず好調である。

サービス業

<旅館業>

(いわき湯本温泉)

昨年はなかったシルバーウィーク期間があり、5月のゴールデンウィーク期間よりにぎわったような気がした。

(土湯温泉)

8月後半からの長雨が9月上旬まで影響を及ぼしたが、9月のシルバーウィーク時は天候も良く、観光客の入込みも伸びた。

<理容業>

8月末より急に涼しくなり雨模様の日が続く、台風も来るなど天候が不順で売上も伸びなかった。理容は天候に左右される商売なので、やっぱり暑いほうがいい。後半に少し持ち直し連休のころ少し忙しかったが、例年に比べ暇で、他の方部も同じようだった。10月は少し忙しくなることを期待して頑張る。

<廃棄物収集運搬業>

雇用状況については依然として厳しい状況ではあるものの9月は3名応募があり10月より2名の採用が決まった。組合としては大きな変動はないが、10月開始予定の震災関連事業の準備をしている。

建設業

<建設業>

(県一円)

県内は復興需要で建設投資は一時的に拡大しているものの、地域によって事業量のバラつきが顕在化しており、復興関連事業がこの先収束することで再び建設投資の減少が見込まれることから、地域の実状に沿った対応が不可避となっている。

(県南地区)

除染業務は計画の8割程度完了している。土木工事の発注は少なく、除染業務が無ければ相当な売上減になるところである。公共建築工事が多く発注され、住宅以外の民間建築工事も増加している。メガソーラー発電所の設置工事が多い。

<管工事>

前月比で、給水装置工事申請が増加し、排水設備申請は減少。前年同月累計対比では、給水装置工事申請が増加し、排水設備申請が減少している。

<専門工事>

福島市地域では今年中に宅地除染を終了するという計画の為、徐々に復興業務も収束していくという感じがする。10月には産学官連携で福島県の業界の担い手と技術者の育成について検討会が開催される予定であり、仕事が減少する一方で、地域業務を支えきるだけの人材が確保できないというジレンマが顕在化している。復興需要で膨れ上がった収益をどうやって資産に変え、どうやって将来につなげていくかを業界全体で認識しなければいけないが、そうっていない状況が見えている一方で、対処しない・できないという業者とどうやって共存していくかが当面の問題になって

いくように感じている。

運輸業

<トラック運送>

(県北地区)

9月の燃料価格はほぼ横ばいで推移したこともあり経費面は安定しているが、青果物やその他一部の荷役量が若干減少傾向にある。国際航空輸出貨物の総取扱量が減少しているとの報道もあり、当組合員への影響等も懸念されるが、今のところ直接的な影響は特にでない。各組合員毎に様々な荷役取扱いがあるため10月からの動向を注視していきたい。

<ハイヤータクシー>

シルバーウィークに伴う長期休みの影響か、先月に引き続き動きが良くない。

県政ピックアップ

2015. 11

～「耐震改修促進資金」のご案内～

旧耐震基準*で建築された事業用建築物を保有し、当該建築物の耐震診断又は改修工事を行う県内中小企業の皆様が利用出来る制度として「耐震改修促進資金」がございますので、御活用ください。

(*昭和56年5月31日までの建築確認において適用されていた基準)

- 対象者：県内に事業所を有する中小企業者で、「旧耐震基準により建築された事業用建物」を保有し、当該建築物の耐震診断又は耐震改修工事（設計・監理、補強、建替を含む。）を行う方。
- 資金用途：運転資金、設備資金（耐震診断及び改修工事に伴い必要となる資金に限る。）
- 融資限度額：運転資金5,000万円、設備資金2億円（併用時2億円限度）
- 融資期間：20年以内（うち据置2年以内）
ただし、資金用途が運転資金のみの場合は10年以内（うち据置1年以内）
- 融資利率：変動金利1.5%以内
固定金利1.9%以内（固定金利は融資期間が10年以内の場合のみ）
- 信用保証料率：年0.35～1.35%

お借入の申込については、県内の取扱金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、商工中金）に御相談ください。制度の詳細については、下記のお問い合わせ先まで御連絡頂くか、福島県のホームページを御参照ください。

<お問い合わせ先>

福島県庁 商工労働部 経営金融課

電話：024-521-7291 FAX：024-521-7931

福島県 制度資金

検索